

な るほど その6 本願寺

南能舞台

対面所前の南能舞台は、現存する日本最大の能舞台で、毎年5月21日の宗祖降誕会に祝賀能が演じられます。



南能舞台

© Hongwanji



北能舞台

© Hongwanji

北能舞台

白書院前の北能舞台は、懸魚(げぎょ)に天正9年(1581)の墨書紙片があり、日本最古の能舞台とされています。

この御手植え松を大切に、先人の思いを次の世に伝えていきたいと、改めて思いました。



現在の御手植え松

善教寺へご巡教に来られた時、皆さん、まだ若かった頃でしょう。
今から約六十年前に御手植えされた松、今でも、こうして立派に、ご参拝者をお迎えして下します。



御手植え松を植樹されるご門主

祖母は、ご門主がご巡教に来られた時を述懐しておりました。それだけ、祖母の心に刻まれた、尊い記憶だったのでしよう。
お聴聞参りに来られる年配の方も、時折、この御手植え松を懐かしんで下さいます。昭和三十二年五月三十日の勝如上人(大谷光照本願寺第二十三代門主が

住職レター

昔の善教寺資料閲覧シリーズ第三弾です。前々号、前号で、ご巡教時の古い写真を見て頂きましたが、今号の写真、御手植え松の植樹シーンは、ご巡教のハイライトだったのではと思います。

この御手植え松の前を通るたびに、亡くなった